

2025年度 教育委員会 年間教育計画

クリニカルラダーレベル I を目指す人 1年目										
ニーズをとらえる力・ケアする力										
	ケアの改善	感染 身体面(疾患や障がい) ケアの提供	身体面(疾患や障がい) ケアの提供	身体面(疾患や障がい) ケアの提供	ケアの提供	ケアの受け手の全体像 ケアの改善	ケアの提供	ケアの受け手の全体像 ケアの改善	ケアの提供 ケアの改善	
研修名	集合看護技術研修					看護記録研修①	看護技術研修	看護記録研修②	シャドウ研修	
目標	①臨床で看護実践に必要な知識や技術を体験する ②当院の看護手順に沿って看護技術を体験する ③看護専門職業人・社会人としての自覚を持つ					看護実践に必要な看護記録を学ぶ	①臨床で看護実践に必要な知識や技術を体験する ②当院の看護手順に沿って看護技術を体験する	①標準看護計画の立案方法を学ぶ ②入院時の情報収集・アセスメント・看護計画立案について学ぶ ③入院時の看護記録について学ぶ ④診療報酬に関する記録について学ぶ	指導者の看護を見て、看護実践やコミュニケーションの方法を学ぶ	
ねらい	①臨床で看護実践に必要な知識や基本的な看護技術がわかる ②当院の看護手順に沿って看護技術を体験できる ③看護専門職業人・社会人として必要なことを理解できる					①看護記録の目的や記載ルールがわかる 看護計画の沿った記録の方法がわかる ②入院患者に必要な看護記録と入力方法がわかる ③業務に必要な情報収集の方法がわかる ④経過表について理解し、記録方法がわかる ⑤実施入力について理解し、入力方法がわかる	①臨床で看護実践に必要な知識や基本的な看護技術がわかる ②当院の看護手順に沿って看護技術を体験できる	①標準看護計画の立案方法がわかる ②4側面からの情報収集がわかる ③4側面の情報をアセスメントし、全体像をとらえ、看護計画が立案できる ④入院時に必要なカルテ記載項目と入力方法がわかる ⑤看護必要度、入院治療計画書、DPCについて理解し、入力方法がわかる	①自部署での勤務の中で、看護実践や時間管理・コミュニケーションなどがわかる ②日勤・夜勤業務をイメージできる 4月夜勤:夜勤業務を経験する 5月夜勤:夜勤業務の流れを理解する 6月夜勤:夜勤開始に向け、夜勤業務の実際をイメージできる	
研修内容	①看護部の紹介 ②看護師長との交流会(自己紹介・部署の紹介) ③看護部の教育体制	①新人教育の進め方 ・クリニカルラダー ・新人教育マニュアル説明 ・新人教育ファイルの活用方法 ・オンデマンド視聴方法 ・各種書類の記載方法 ②コミュニケーションと接遇 ③電子カルテ操作	①感染対策(コロナ対応も含む)・環境整備 ②看護部のルールと看護基準・マニュアルの活用 ③看護専門職業人として理解しておきたいこと(看護職の責務・倫理綱領・社会人基礎力) ④日常生活援助(移乗の介助・食事介助・口腔ケア)	①排泄介助・導尿・バルンカテーテル・おむつ交換・浣腸 ②フィジカルイグザミネーション バイタル測定・聴診・経過表入力	①採血 ②点滴 ③静脈内注射 ④ME室で管理している物・輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いと実施・物品の管理	①吸引・酸素 ②血糖測定 ③インスリン	①看護記録マニュアル・看護記録とは ②経時記録の入力とルール ・標準看護計画とは ・SOAPの書き方 ③情報収集の仕方 ④経過表とは、入力方法 ⑤実施入力とは、入力方法	①経管栄養 ②筋肉注射 ③皮下注射	①情報収集・アセスメントし、患者の全体像を捉える ②看護計画を立案する ③入院時に必要な記録 ④入院時の入力チェックリストに沿って入力 ⑤入院治療計画書の作成 ⑥看護必要度とは、入力方法 ⑦DPCとは、入力方法	①日勤シャドウ 4月1回実施 勤務開始時は必ず ②夜勤見学・シャドウ 4月JZ勤務を1回 5月JZ勤務を1回 6月JZ勤務を1回 ③逆日勤シャドウ 6月下旬
自己学習		学研オンデマンド【看護共育コース】 ●みんなが笑顔になれるアサーションの基本～看護師として働く前に知っておきたいこと～	学研オンデマンド【基礎習得コース】該当する看護技術に関するテーマ			学研オンデマンド【基礎習得コース】 ●初めに抑えておきたい看護記録の心得	学研オンデマンド【基礎習得コース】 ●もう平気！実践に強くなる筋肉注射・皮下注射・皮内注射	学研オンデマンド【基礎習得コース】 ●いま学び直す看護過程～知識と経験をつなげよう～	学研オンデマンド【基礎習得コース】 ●新人看護師の1日～日勤密着でわかる独り立ちへの道筋～ ●夜勤独り立ちへの心構え	
方法	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	各部署でOJT
講師	看護部	看護部 教育委員	感染管理認定看護師 牧野副看護師長 リハビリスタッフ	教育委員 フィジカルインストラクター	教育委員	教育委員 糖尿病認定看護師 白根弘美(インスリン・血糖測定)	記録委員 藤貞理副看護師長・岡田百合子	教育委員 景山美紀・柳楽千鶴	記録委員	各部署の指導者
日時	4/2(水) 14:15～17:00 ※17:00～各部署へあいさつ	4/3(木) 8:30～17:15	4/4(金) 8:30～17:15	4/8(火) 8:30～17:15	4/9(水) 8:30～17:15	4/10(木) 8:30～14:00	4/7(月) 8:30～17:15	5/2(金) 8:30～12:00	5/12(月) 8:30～17:15	①日勤シャドウ 4月1回実施 ②夜勤シャドウ 4月・5月・6月JZ勤務を1回 ③逆日勤シャドウ 6月下旬

2025年度 教育委員会 年間教育計画

クリニカルラダーレベル I を目指す人 1年目

	ニーズをとらえる力・ケアする力					意思決定を支える力		4つのすべての力		自己学習
	救命救急	身体面(疾患や障がい)ケアの提供	安全	身体面(生活)精神面倫理	身体面(生活)精神面倫理	意思決定支援	倫理			
研修名	フィジカルアセスメント研修	多重課題研修	医療安全研修	高齢者患者体験	認知症研修	市町村新規採用者研修	看護倫理研修	看護実践とは	看護観研修	学研オンデマンド視聴テスト実施 日本看護協会オンデマンド 島根県看護協会研修 その他、院外研修 ★レベル I の学習目標を2年間で達成できるよう目標に応じた研修を自ら選択し受講する ★年度初めに学習計画を立て、計画的に学習する
目標	急変対応について学ぶ	時間の切迫した中での優先順位の考え方を学ぶ	医療安全に関する基礎的な知識を学ぶ	高齢者体験をおこない、高齢患者の特徴、入院生活の思いを体験する	認知症の基礎的な知識を学ぶ		看護師として生じる看護倫理問題について学ぶ	①看護実践の責務と内容を学ぶ ②クリニカルラダーを理解する	自己の看護観を明らかにする	
ねらい	①一次救命処置(BLS)をシミュレーションで実施し、急変時の看護がわかる ②SBARを使用した報告の仕方がわかる	①時間の切迫した中で優先順位を考えた対応ができる ②患者に必要な観察項目を理解し、得られた情報から異常を察知し、報告できる	①インシデント発生時の対応・記録が分かる ②インシデントレポートの意義・目的がわかる ③インシデントレポートの書き方・注意点がわかる ④インシデントの分析方法がわかる	①高齢者の体験装具を使用して高齢者の身体の特徴が理解できる ②病室で体験することで患者の思いがイメージできる ③体験を通して、体験からの学びと高齢者ケアの自己課題を明らかにできる	①認知症の症状を理解し、患者の接し方がわかる		①看護に必要な倫理的な問題がわかる ②身近な事例を4分割のシートを用いて分析する方法が理解できる	①看護実践の責務、内容、方法について理解できる ②クリニカルラダーと看護実践の関連について理解できる	現在の看護観(看護を行うにあたり大切にしていること)を明確にできる	
研修内容	①一次救命処置(BLS) ②SBARの報告	①時間の切迫した中で優先順位を考える(机上シミュレーション)	①インシデント発生時の対応 ②インシデント発生時の記録 ③インシデントレポートの意義・目的 ④インシデントレポートの書き方・注意点がわかる ⑤インシデントの分析方法	①自部署で高齢者の体験をする ②体験を通して日頃の自己の看護を振り返り今後課題を明確にする	①認知機能低下のある患者のコミュニケーション・接し方	詳細は別紙 公務員倫理などの学習 後日案内 5/7(水)・8(木) 5/14(水)・15(木) いずれか	①看護倫理とは ②4分割シートの分析方法について学ぶ ③事例検討	①看護とは ②看護実践の基準(看護業務基準) ③クリニカルラダーの活用方法について	①看護師を目指したきっかけや日々の看護の中で大切にしていることを語り合う ②自己の看護観を文章化する	
自己学習	学研オンデマンド【基礎習得コース】 ●初めての急変対応～チームの一員としてすべきこと～	学研オンデマンド【基礎習得コース】 ●多重課題の波を乗り越え～チームワークを円滑にする整理術・連携術～	学研オンデマンド【院内全体研修コース】 医療安全関連 ●組織の医療安全文化を支えるインシデントレポートと報告書管理体制を知ろう！		学研オンデマンド【認知症・高齢者コース】 ●〈看護編2〉〈看護編2事例動画〉認知症患者に対するコミュニケーション	出張伺い・復命書、研修報告書の提出	学研オンデマンド【院内全体研修コース】 倫理関連 ●立ち止まる臨床倫理のススム	学研オンデマンド【基礎習得コース】 ●続く！はかどる！社会人の勉強法 ●看護師資格は一生～未来につながる、今日の看護をめいっぱい楽しもう～	学研オンデマンド【基礎習得コース】 ●看護のコア～かわらないもの、変わるもの～	
方法	講義・演習	講義・演習	講義・演習	体験	講義・演習		講義・演習	講義・グループワーク	講義・グループワーク	
講師	院内フィジカルインストラクター 安井由佳・森本ちひろ・廣瀬副看護師長	教育委員 田平副看護師長・黒木美保	医療安全管理者 渡津真由美看護師長	部署の教育担当者及び実地指導者	認知症ケア委員会		教育委員 景山美紀	教育委員 高平看護師長 下垣副看護師長	教育委員 中村副看護師長	
日時	7/2(水) 8:30～12:00	9/24(水) 9:00～12:00 ※この後フォローアップ研修	10/30(木) 9:00～12:00	10月～11月に各部署で調整 ※12/3認知症ケア研修までに体験すること	12/3(木) 13:30～15:30		1/27(火) 13:30～15:30	7/2(水) 13:00～15:30 ※フィジカル研修のあと	3/6(金) 13:30～15:30 ※このあとフォローアップ研修	

2025年度 教育委員会 年間教育計画

クリニカルラダーレベル I を目指す人 2年目

	ニーズをとらえる力・ケアする力				協働する力		自己学習
	身体面(生活)	救命救急 身体面(疾患や障がい)	ケアの改善	身体面(生活)	コミュニケーション	地域を見る視点	
研修名	看護理論研修	フィジカルアセスメント研修	看護記録研修	訪問看護同行研修 (卒後2.3年共通)	メンバーシップ研修	退院支援研修(レベルIIと合同)	学研オンデマンド 視聴 テスト実施  日本看護協会オン デマンド
目標	看護理論と実践を結び付け、根拠のある看護の実践ができる	急変対応について学ぶ	4側面の情報からアセスメントをおこない看護計画を立案する	訪問看護師に同行し在宅療養の現状を学ぶ	メンバーシップを発揮するために必要なことを学ぶ	退院支援・地域連携に必要な知識を学ぶ	
ねらい	①看護理論の基礎がわかる ②看護実践を看護理論に結びつけて考えることができる	①急変時の行うフィジカルアセスメントがわかる ②急変時のとるべき行動を体験できる ③急変時の正しい記録や報告がわかる	①4側面から情報を収集、アセスメントし、標準看護計画が導き出せる ②自己の記録(アセスメント、SOAP)を振り返り、問題点と今後の課題を明確にできる	①生活者としての利用者を知る ②在宅での介護と環境を知る ③退院指導がどのように継続されているか評価する	①チームの一員として、自分の役割を理解できる ②メンバーシップを発揮するために必要なことを理解できる (情報交換・情報伝達スキル)	①地域包括ケアシステムにおける当院の役割が理解できる ②大田圏域の施設や職種の役割、社会資源がわかる ③事例を通して、退院支援の流れがわかる	島根県看護協会研修  その他、院外研修
研修内容	①看護理論とは ②看護実践と看護理論	①一次救命の対応(挿管介助・12誘導心電図を含む) ②フィジカルアセスメント ③急変時の記録・報告(SBAR)	①自分の立案した看護計画を振り返ろう ②自己の記録(アセスメント、SOAP)を振り返る ③振り返りの中から今後の課題を明らかにして明日からの記録に活かそう	①同行訪問の計画を立案し、訪問看護見学記録用紙を作成して学びをまとめる	①メンバーシップとは ②メンバーシップを発揮するため必要なこと	①地域包括ケアシステムについて ②退院支援の流れ	★レベル I の学習目標を達成できるよう目標に応じた研修を自ら選択し受講する(2年目の終わりにレベル I のエントリーができるように)  ★年度初めに学習計画を立て、計画的に学習する
自己学習		学研オンデマンド【基礎習得コース】 ●心電図のいろは【基礎習得コース】 ●初めての急変対応～チームの一員としてすべきこと～			学研オンデマンド【看護共育コース】 ●チームの一員になるためのメンバーシップ～「伝える」から「伝わる」コミュニケーションへ～	学研オンデマンド【入退院支援・地域包括ケアコース】 ●改めて学ぶ！入退院支援入門～多職種連携による入退院支援がなぜ必要か？～ ●改めて考える！地域包括ケアシステムと地域共生社会	
方法	講義・グループワーク	講義・グループワーク	講義・グループワーク	訪問看護同行	講義・グループワーク	講義	
講師	島根大学 秋鹿都子助教授	院内フィジカルインストラクター 大原副看護師長 若谷秀人	記録委員	各部署の教育担当者 (副看護師長)	教育委員 下垣副看護師長	退院支援チーム会	
日時	8/20 (水) 9:00~12:00	10/7(火) 13:00~17:15	7/4(金) 13:30~16:30	部署間で日程調整 ※2.3年のどちらかで1回実施する	5/30(金) 13:30~15:00	12/2(火) 13:30~15:00	